

令和7年度 多摩市立瓜生小学校 学校評価書

学校教育目標	
人権尊重を基調とし、主体的に学び、人間性豊かで、心身ともに健康でたくましく生きる児童の育成 すすんで学ぶ子（問題解決力の育成）思いやりのある子（人間関係調整力の育成）きたえる子（行動実践力の育成）	
目指す学校像（学校経営ビジョン）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共に生き、共に学び「一人一人が輝く学校」</li> <li>・共に励み、共に伸びることのできる「学ぶ喜びのある学校」</li> <li>・毎日、笑って、楽しく、幸せになれる小学校「笑楽幸（しょうがっこう）」</li> </ul>	
目指す子供像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学んだ知識を生きる知恵として活用する児童</li> <li>・優しさと寛容の心をもち、互いの人権を尊重する児童</li> <li>・健康な心と体をもち、粘り強くやり遂げる児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の小さな成長を認め励ますことのできる教師</li> <li>・分かる喜び、考える喜びのある授業を実践する教師</li> <li>・粘り強く児童に寄り添い、励ますことのできる教師</li> </ul>

| 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	・学んだ知識を生きる知恵として主体的に活用し、問題解決に取り組む児童の育成 ・問題解決力の育成			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
SDGsを踏まえたESDの充実を図り「めあてと見通し」「自力解決と学び合い」「まとめと振り返り」等の学習過程を重視し、問題解決の流れを明確にした学習活動を展開する。(80%)				
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善に取り組み、児童の基礎的な知識・技能と探究する力を育成する。(80%)				
家庭や地域の教育力、各関係団体、大学等と連携して、様々な体験活動を取り入れ、学習活動の一層の充実を図ることにより、児童の興味・関心や学びに向かう力を高める。(80%)				
評価のまとめ				

(2) 豊かな心の育成

重点目標	・優しさと寛容の心をもち、互いの人権を尊重する児童の育成 ・人間関係調整力の育成			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
人として尊重され、互いを大切にし合う豊かな人間関係を構築するために、人権教育の一層の充実を図るとともに、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、解決に向けた組織的対応力を強化する。(80%)				
体験学習や道德教育による心の教育を充実させ、児童の情緒の安定を図り、健全育成に努める。(80%)				
学級経営の充実や異年齢児童との活動、地域との交流を通して、他者を理解し尊重する心を育むとともに、温かい人間関係を構築し、誰もが安心して過ごせる学校をつくる。(80%)				
評価のまとめ				

(3) 健やかな体の育成

重点目標	・健康な心と体をもち、挑戦し、やり遂げる児童の育成 ・行動実践力の育成			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
体育授業の充実、一校一取組等を通して、体力向上に取り組むとともに、運動に親しみ、粘り強く取り組む態度を養う。(80%)				
児童集会や休み時間等を効果的に活用し、体育的活動、異学年交流を生かした遠足や遊び等に取組み、体を動かす楽しさを味わわせるとともに運動習慣の定着を図る。(80%)				
食育を推進し、給食や家庭での食生活を振り返り、健康に生活する態度を育成する。(80%)				
評価のまとめ				

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	・地域を愛し、地域社会の一員としての自覚ある児童の育成 ・コミュニティ・スクールとして、家庭や地域との連携 ・学校の教育活動や地域行事における交流を通して、開かれた学校づくりの推進			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
地域の人材や自然環境等を生かした教育を推進し、地域を大切に思う心を培うとともに、地域の中で互いに協力し合って生活し、地域社会に参画する態度を養う。(80%)				
保護者や地域社会、近隣の幼稚園・保育園や中学校等、地域と連携した学校づくりを推進する。(80%)				
他者と連携・協働及び合意形成しながら、社会の一員として地域の課題解決に主体的に関わることができる児童を育成する。(80%)				
評価のまとめ				

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等



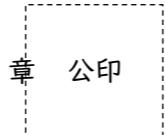
【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上~100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上~90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上~70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

以上のとおり報告いたします。

令和8年3月6日

多摩市立瓜生小学校 校長 池田泰章



# 令和7年度 学校評価書



## 多摩市立瓜生小学校